



澄みて輝く

表題「澄みて輝く」は校歌「澄みて輝く 加治川阿賀野」の一節です。
本校生徒が加治川のように、心澄み輝くことを願ったものです。

✿ 新年度のはじまりに寄せて 校長 小竹 聖一

【生徒の皆さんへ】

皆さんにはそれぞれ、夢や希望があると思います。その実現に向けて、校長としてのお願いがあります。

そのお願いとは、「自分を信じる」ということです。

皆さんはサーカスのゾウの話を知っていますか。サーカスのゾウは、日ごろ鎖(くさり)で杭(くい)につながれてじっとしています。杭を引き抜く力は持っているのに、なぜその力を発揮して逃げないのでしょうか。

答えは簡単です。彼らは「自分には大した力がない」と思いこんでいるからです。ゾウは子どもの頃から、鎖につながれて毎日を過ごします。子ゾウは、まだ小さいので大した力がなく、杭を引き抜くことができません。ゾウは大きくなってからもその思いこみにとらわれ続けているのです。調教師はそのことを知っているから、杭につないでおく。大きなゾウにとって杭を抜くのはたやすいことです。しかし、ゾウは「自分には大した力がない」と思いこんでいるから、何もせずにじっとしている、というわけです。

これは人間にも当てはまります。皆さんは「自分には大した力がない」と思いこんでいませんか。まずは、自分の力を信じて、今の限界を乗り越えようと挑戦する姿勢を身に付けてほしいと思います。

【保護者の皆さまへ】

4月1日付で着任した、小竹聖一です。生徒一人ひとりの進路希望達成、教育環境の整備・充実、心身ともに安全に学校に毎日通える体制づくりに向けて、精一杯頑張る所存です。どうぞよろしく願いいたします。

今ほどのサーカスのゾウの話については、ゾウと調教師の関係が、そのまま生徒と保護者、あるいは生徒と教職員の関係にあてはまるわけではありませんが、通じるものがあると思います。生徒一人ひとりには、目標を達成するための力が備わっています。ご家庭におかれましては、どうかお子さまの力を信じて、卒業時に目標を達成して自己実現を果たすことができるよう、積極的な援助をお願いいたします。私たち教職員も生徒の力を信じ、その力を最大限引き出せるように尽力してまいります。今後とも本校の教育活動に対してご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年度のご挨拶とさせていただきます。



❁ 4月の行事・学校生活



4月7日(月) 入学式

57名の新入生が入学しました。やや緊張しながらも大変立派な態度で臨んでくれました。西高でのさらなる成長が楽しみです。



4月8日(火) 生徒会入会式

新入生が2～4年次の先輩と顔合わせをしました。学校紹介や部活動紹介などが行われました。生徒会役員を中心に準備・運営し、年々充実した内容になっています。



4月23日(水) 携帯・スマホマナー教室 (全年次)

新潟県警の職員を講師に招き、スマートホンの適切な使用やネットトラブル防止について学びました。

❁ 今後の主な全校行事等

4月30日(水) 交通安全講話

5月14日(水) 防災教室 (心肺蘇生法について学びます)

16日(金) 授業公開・後援会総会 (保護者の皆様には別途ご案内いたします)

21日(水) 避難訓練

屋外清掃 (近隣町内の皆様にもご案内しております)

28日(水) 献血講話 (予定)

6月 4日(水) 保健講話

5日(木)～11日(水) 前期中間考査

27日(金) スポーツフェスティバル

新年度も1か月ほど過ぎ、気温が上がってきました。感染症等は依然心配な状況が見られます。新入生はもちろんどの年次の生徒もこれまでの緊張やがんばりから、さまざまな疲れが出ている頃と思います。これから連休がありますが、心身ともにリフレッシュして登校してくれることを願っております。

(文責 教務部 遠山 努)